

山梨県立育精福祉センターのサウンディング型市場調査実施結果概要

1. 調査期間

(申込): 令和6年12月10日(火曜日)から12月24日(火曜日)

(調査): 令和7年1月20日(月曜日)

2. 参加事業者数

1者

3. 主な対話事項

◆ 民間ノウハウを活用した県民サービス向上に関する提案

(1) 事業展開に関する提案

○ 利用者の満足度向上について

・昨年度実施したアンケートの結果が低下した項目は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした行事に関するものが多かったことから、今後はその部分を上げて行きたい

・令和6年度は育精福祉センターの成人寮、児童寮合同でまつりを実施したが、利用者が喜んでおり好評だった

・アンケートの実施は、利用者の障害特性上大変な部分があるが、生活支援員が共に生活する中で利用者の嗜好や要望を把握しているため、引き続きその部分に力を入れてもらい対応するようにする

○ 周辺施設との連携等について

・社会福祉村の施設長会議を開催しており、各種研修やまつりのこと等を話し合うことで連携を図っている

・利用者が通学している近隣の小中学校の行事に参加している

(2) 施設整備に関する提案

○ 施設及び設備の新たな設置や改修等について

耐用年数が経過したり、劣化して来ている設備等の早期の更新

(3) 事業方式に関する提案

○ 施設への投資回収期間を見込んだ指定期間の延長

・指定管理期間の延長による物価変動のリスク

・人材の確保や育成に繋がりやすいというメリット

(4) 自主事業の提案

日中一時支援事業の拡充

4. 今後の対応

今回の提案を踏まえ、指定管理業務の検討に活用する